

— 生誕100年記念 —

# 東山魁夷 版画展



「静映」(リトグラフ) 原画制作 1982年



東山魁夷(ひがしやまかい)は、明治41年に横浜市に生まれ、平成11年に90歳で逝去し、本年生誕100年を迎えます。東京美術学校日本画科に在学中の昭和4年に帝展初入選。昭和8年ドイツに留学し、2年後帰国。終戦近くに召集を受け熊本に配属、死を覚悟の訓練のなかで見た阿蘇山の美しさに感動、風景を描くようになります。昭和22年の日展で「残照」が特選を受賞。昭和31年には日本芸術院賞を受賞。その後、日本芸術院会員となり、昭和44年には61歳の若さで文化勲章を受章します。その間、東宮御所、皇居新宮殿壁画を制作、昭和50年からは奈良・唐招提寺障壁画の制作など、風景画家として独自の日本絵画を確立し、数々の名作を残しました。本展では、東山すみ夫人の監修により、リトグラフ、木版画など81点の作品をご紹介します。

4月12日<sup>土</sup>～6月8日<sup>日</sup>  
(月曜休館、但し5/5は開館し5/7休館)

開館時間 / 午前10時から午後6時まで(入館は午後5時30分まで)  
入館料 / 一般600円・団体500円(10名以上)、高校生以下無料  
※常設展、波山記念館もご覧になれます。問い合わせ / Tel 23-1601

**しもだて美術館**  
Shimodate Museum of Art

編集後記

卒業おめでとう、そして新たな出港に祝福あれ。この先、風ばかりとは限らない人生の大海原。時化の日(うらみ)は右往左往するが、定めた港にしっかりと辿り着く強い信念を持つて欲しい。(も)

「手作りの風が風を受けて、大空を舞う感動を子供たちに伝えたい」と上州赤城風の会の狩野会長(渋川市)。竹ひごと紙と糸だけなのにワクワクしてくる。春休みには我が家でも作るぞ。(ま)

世界らん展初となる日本大賞と優秀賞をダブル受賞した斉藤さん。「ランを通して様々な職業や世代の人と交流するのが楽しい」という、そんな心の豊かさが花にも表れるのでしょね。(あ)



「カトレア トリアネ "オカダ"」(斎藤正博さんの作品)  
世界らん展で、優秀賞と英国王立園芸協会特別賞を受賞した作品。幅160cmの株に233輪もの華麗な花が咲き誇ります。